

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

2022年1月26日

2. 認定事業適応事業者の名称

ローム浜松株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

■ロームグループの環境ビジョン 2050

近年、世界的なCO₂排出量の増加にともなう地球環境問題への対処が喫緊の課題となっている。ロームグループは、これらの世界的な潮流に同調し、事業活動により発生する2050年のCO₂排出量“ゼロ”を目指す活動を開始した。

ロームは、サステナビリティ経営における重点課題に、①「気候変動」への対応、②「資源循環」のシステム構築、③「自然共生」を通じた生物多様性の保護、の3点を設定。

まずは、GaNをはじめとする脱炭素化商品の開発と、これらを製造するプロセスの省エネ化技術の開発から挑戦していく。

■ビジョンの実現に向けた、当社の取り組み

顧客及び社会の脱炭素化に貢献できる新商品を生産する。脱炭素化効果のある「GaN（窒化ガリウム）デバイス」の量産体制を速やかに整え、市場への供給能力を高めることで普及を促進する。それにより国内のCO₂排出量削減に貢献していく。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2022年度より事業適応を開始する。

- ・GaNデバイス生産ラインを設置。商品の開発及び工程設計を開始し、2023年度の量産開始を予定。他商品で取引のある顧客に対して新たに本GaN（窒化ガリウム）デバイスの販売開始を行う。また、これらの新規製品群の事業化を確実にすべく、最適な駆動を実現するIC等も開発し顧客提案する事によって事業適応終了後に着実に販路を開拓するとともに、国内の脱炭素化に貢献することを目標とする。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

目標年度である2023年度までに経常利益を計上することを目標とする。

- (4) 事業適応の種類
エネルギー利用環境負荷低減事業適応
- (5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）
電子部品製造（28）
計画の対象となる事業は主に半導体素子を生産するものであるため。
- (6) 事業適応の具体的内容
ロームグループでは数年前より、Ga_N等を素材とする化合物半導体の普及、量産化に向けた実験研究、試作を重ねた結果、課題を解決し量産の実現可能なレベルに達しており、2022年度以降、環境対応商品の開発及び脱炭素化に向けた工程設計の検証を開始する。
2023年度には、Ga_Nデバイスの量産を開始し、産業機器市場を中心とした顧客に販売することで、市場とシェアの拡大に応じて炭素生産性の向上を図る。
- (7) 事業適応の開始時期及び終了時期
開始時期：2022年4月
終了時期：2023年3月